

# 2018年度の産学連携プログラムの実施状況

## Industry-University Consortium on Logistics

流通経済大学流通情報学部では、2010年度からロジスティクス産学連携プログラムを正式に立ち上げました。今年度が9年目であり、プログラムが確実に定着してきました。プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されております。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、従来から「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目がありました。さらに、2018年度より、新松戸キャンパスで「IoTロジスティクス実践講座」、龍ヶ崎キャンパスで「地域ロジスティクス実践講座」を開講し、計9科目となりました。また、関連する寄付講座として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」の2科目があります。2018年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。「日本通運寄付講座」は、春学期に龍ヶ崎キャンパス、秋学期に新松戸キャンパスで開講し、それぞれ全15回、日本通運NITTSUグループユニバーシティの山根泉氏に講義をしていただきました。

なお、「情報システム実践講座」、「ダイレ

クトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」は2学年以降の履修科目、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「ロジスティクス改善演習」、「IoTロジスティクス実践講座」、「地域ロジスティクス実践講座」は3学年以降の履修科目となっています。

### ①「ロジスティクス実践講座」の2018年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクスシステムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考えていくことを目標としています。また、環境問題あるいは災害時対応といった新たな問題についても学びます。ロジスティクス実践講座Ⅰは春学期に新松戸キャンパス、秋学期に龍ヶ崎キャンパス、ロジスティクス実践講座Ⅱは秋学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表1、表2のとおりです。新松戸の受講生数は春学期57人、秋学期54人でした。龍ヶ崎の受講生数は秋学期10人でした。

### ②「物流マネジメント実践講座」の2018年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招

## ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

表1 「ロジスティクス実践講座Iー秋学期、龍ヶ崎」の2018年度の実施結果 秋学期(10名)

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス概論	元 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
2	企業のロジスティクス戦略の変遷-1	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷-2	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	マーケットプレイスの仕組み	(株)インフォーマット 藤田尚武氏
5	物流改善のポイントは	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
6	沖縄における人材育成	(株)あんしん 雨宮路男氏
7	菓子食品物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス(株) 一山幸市氏
8	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
9	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
10	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
11	食品流通の課題にチャレンジ	一般社団法人食品ロスリボンセンター 元国分(株) 山田英夫氏
12	物流不動産ビジネス	イーソウコ(株) 大谷巖一氏
13	企業物流と物流業界の最近の動向	(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
14	メーカーサプライチェーンロジスティクスー東芝の事業競争力強化に向けたロジスティクス戦略	(株)東芝 正木裕二氏
15	味の素(株)・味の素物流(株)のロジスティクス戦略	SCMソリューションデザイン 元味の素物流(株) 魚住和宏氏

表2 「ロジスティクス実践講座IIー春学期、秋学期、新松戸」の2018年度の実施結果 春学期(57名)、秋学期(54名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンスとロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
2	ロジスティクス概論	元 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷-1	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷-2	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
6	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング 山田健氏
7	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
8	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
9	菓子食品物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス(株) 一山幸市氏
10	メーカーサプライチェーンロジスティクスー東芝の事業競争力強化に向けたロジスティクス戦略	LTロジマネジメント 正木裕二氏
11	大学祭休講	大学祭休講
12	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
13	ロジスティクスと環境・資源～資源有効利用とロジスティクス～	みずほ情報総研(株) 秋山浩之氏
14	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
15	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
16	ガイダンスとロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
17	台風で休講	
18	ロジスティクスにおける企業間コラボレーション	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
19	物流不動産ビジネス	イーソウコ(株) 大谷巖一氏
20	物流改善の実際	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
21	カスミにおけるSCMの特徴と改善の取り組み	(株)カスミ 齋藤雅之氏
22	都市内物流の効率化について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
23	物流のソリューション営業とその事例	(株)ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
24	味の素(株)・味の素物流(株)のロジスティクス戦略	SCMソリューションデザイン 元味の素物流(株) 魚住和宏氏
25	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送(株) 結束洋氏
26	食品ロスとリサイクル	一般社団法人食品ロスリボンセンター 元国分(株) 山田英夫氏
27	激変する物流への課題	一般社団法人 日本物流資格士会 元ハウス物流サービス(株)社長 早川哲志氏
28	物流情報システム/設備導入について	ロジ・ソリューション(株) 釜屋大和氏
29	企業物流と物流業界の最近の動向	(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
30	ロジスティクスと包装	公益社団法人 日本包装技術協会包装技術研究所 金子武弘氏

表3 「物流マネジメント実践講座－春学期、新松戸」の2018年度の実施結果(36名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
4	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
5	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
6	ロジスティクス分野のIT活用事例	ニュー・リレーション・インフォ・ビズ(株) 足立研二氏
7	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
8	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸(株) 野瀬信幸氏
9	内航海運の現状	国立開発研究法人海上技術安全研究所 松倉洋史氏
10	美術品の輸送のポイント	元日本通運(株) 浅賀博靖氏
11	コンビニ配達の現状と課題	大島運輸(株) 大島弥一氏
12	市場流通の役割と実際	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
13	3PLの役割と実際	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
14	講座の復習とまとめ①	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ②	流通経済大学 小野秀昭

表4 「物流マネジメント実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2018年度の実施結果(7名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	内航海運の現状	国立開発研究法人海上技術安全研究所 松倉洋史氏
4	美術品の輸送のポイント	元日本通運(株) 浅賀博靖氏
5	トラック運送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
6	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
7	ロジスティクス分野のIT活用事例	ニュー・リレーション・インフォ・ビズ(株) 足立研二氏
8	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸(株) 中西優氏
9	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
10	コンビニ配達の現状と課題	大島運輸(株) 大島弥一氏
11	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
12	3PLの役割と実際	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
13	市場流通の役割と実際	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
14	講座の復習とまとめ①	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ②	流通経済大学 小野秀昭

表5 「国際物流実践講座－春学期、新松戸」の2018年度の実施結果(28名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	国際海上輸送の動向	日本海事センター 中村秀之氏
3	船会社の国際物流戦略	オーシャントランス(株) 辰巳順氏
4	欧州の最新物流事情	流通経済大学 林克彦
5	ロシアの最新物流事情	公益財団法人 環日本海経済研究所 辻久子氏
6	インテグレータの国際物流戦略航空	FedEx 山口邦男氏
7	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 石橋斉氏
8	航空フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 望月和徳氏
9	商社の国際物流管理	住友商事(株) 河野達也氏
10	航空会社の国際物流戦略	(株)ANA Cargo 清水良浩氏
11	物流企業の海外展開(中国)	日本通運(株) 小野文吾氏
12	ASEANの最新物流事情	(株)日通総合研究所 田阪幹雄氏
13	米国の最新物流事情	(株)日通総合研究所 田阪幹雄氏
14	インドの最新物流事情	流通経済大学 林克彦
15	まとめ	流通経済大学 林克彦

き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は

龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表3、表4のとおりです。新松戸の受講生数は36人、龍ヶ崎の受講生数は7人でした。

## ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

表6 「情報システム実践講座－春学期、新松戸」の2018年度の実施結果(45名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ITを活用したロジスティクス戦略立案	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
3	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
4	地図とデータベースを用いた企業のエリアマーケティング	技研商事インターナショナル(株) 市川史祥氏
5	物流におけるICT活用のポイント	グリットコンサルティング合同会社 野口雄志氏
6	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
7	行動分析のIT化による作業改善の実例紹介	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
8	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
9	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
10	TMSの役割と活用	光英システム(株) 池田勝彦氏
11	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア(株) 小林道明氏
12	物流現場力強化のための物流技術	(株)MTI 栗本繁氏
13	ドローンの産業応用の現状と今後	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
14	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	ヒューマネテック(株) 吉山洋一氏
15	まとめ	流通経済大学 増田悦夫

表7 「情報システム実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2018年度の実施結果(17名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	地図とデータベースを用いた企業のエリアマーケティング	技研商事インターナショナル(株) 市川史祥氏
3	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
4	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	ヒューマネテック(株) 吉山洋一氏
5	TMSの役割と活用	光英システム(株) 池田勝彦氏
6	大学祭休講	大学祭休講
7	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア(株) 小林道明氏
8	ITを活用したロジスティクス戦略立案	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
9	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
10	物流におけるICT活用のポイント	グリットコンサルティング合同会社 野口雄志氏
11	物流現場力強化のための物流技術	(株)MTI 栗本繁氏
12	ドローンの産業応用の現状と今後	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
13	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
14	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
15	まとめ	流通経済大学 増田悦夫

表8 「ダイレクトマーケティング実践講座－春学期、新松戸」の2018年度の実施結果(73名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	台風で休講	
3	通販市場の現状	公益社団法人 日本通信販売協会 西郷祐二氏
4	ネット通販市場と企業の動向	柿尾正之事務所 元 公益社団法人 日本通信販売協会 柿尾正之氏
5	スクロールの変遷と今後の展開	(株)スクロール 高山隆司氏
6	スマホが変えたネットコマースと越境ECの可能性	(有)スタイルビズ 青山直美氏(村山らむね)
7	メーカー系通販の展開	ライオン(株) 乗竹史智氏
8	インターネット通販の展開	中山茂マーケティングデザイン(株) 元(株)千趣会 中山茂氏
9	UPDATE eコマース	ヤフー(株) 白山 達也氏
10	顧客満足作りのポイント「購入後満足」と「個性化」をいかに具体化するか	(株)カタログハウス 松尾隆久氏
11	オットー・ジャパンの国内・海外でのフルフィルメントサービスとその事例 ー顧客に求められるフルフィルメントサービスとは?ー	オットー・ジャパン(株) 勝井武二氏
12	ダイレクトマーケティングとロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
13	番組等表現及び商品チェックの現状	(株)グランマルシェ 倉又徹夫氏
14	オムニチャネルとラストマイル	流通経済大学 矢野裕児
15	「カタログギフト」の進化、そこから広がるビジネスの可能性	リンベル(株) 細谷光弘氏

### ③「国際物流実践講座」の2018年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国

際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。春学期に半期科目として、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表5のとおりです。受講生数は28人でした。



## ④「情報システム実践講座」の2018年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野などに利用されている情報システムやその要素技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワークの設計・開発の手法についても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表6、表7のとおりです。新松戸の受講生数は45人、龍ヶ崎の受講生数は17人でした。

## ⑤「ダイレクトマーケティング実践講座」の2018年度の実施状況

「ダイレクトマーケティング実践講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクト・マーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクト・マーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、

卸、小売のサプライチェーン、さらに物流業に大きな影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきます。半期科目であり、秋学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表8のとおりです。受講生数は73人でした。なお、本講座は公益社団法人日本通信販売協会が後援しています。

## ⑥「ロジスティクス企業訪問講座」の2018年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪問を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解することを目標としています。2018年度は春・秋学期を合わせ17箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が概説し、物流現場を実際に見学しました。半期科目で、企業訪問を実施することから、授業期間中の土曜日、夏季休暇中の8月から9月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表9、表10のとおりです。春学期の新松戸の受講生数は22人、

表9 「ロジスティクス企業訪問講座―春学期、新松戸・龍ヶ崎」の2018年度の実施結果  
新松戸(22名) 龍ヶ崎(2名)

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	物流の歴史を学ぶ	物流博物館
4	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	(株)丸和運輸機関 物流センター
5	食品メーカー工場の省人化の取り組み見学	味の素(株) 川崎工場
6	通信販売の物流センター見学(先端物流機器の見学)	(株)ホームロジスティクス ニトリ統合発送センター
7	自動車工場の見学	富士重工業(株) 日産栃木工場
8	自動車部品の配送センター	日産運輸(株) 太田配送センター
9	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	SBSロジコム(株) 野田木野崎支店
10	小売業の物流センター見学	(株)カスミ 佐倉流通センター
11	まとめ	流通経済大学 矢野裕児、洪京和

表10 「ロジスティクス企業訪問講座－秋学期、新松戸・龍ヶ崎」の2018年度の実施結果  
新松戸(7名)、龍ヶ崎(1名)

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	トーフ流通(株) 小絹センター
4	最新の物流システム、物流機器の見学	国際物流総合展
5	自動車メーカーの物流センター見学	(株)ホンダロジスティクス 埼玉事業所
6	スポーツ用品メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	(株)日立物流 アディダス営業所
7	飲料メーカーの物流センター見学	キリングループロジスティクス(株) 茨城支店
8	卸売業の物流センター見学	三菱食品(株) 関東RDC
9	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	(株)キューソー流通システム 所沢物流センター
10	通信販売の物流センターの見学	オットーシャパン(株) 松戸物流センター
11	宅配便のセンター見学	ヤマト運輸(株) 羽田クロノゲート
12	まとめ	流通経済大学 矢野裕児、洪京和

龍ヶ崎の受講生数は2人でした。秋学期の新松戸の受講生数は7人、龍ヶ崎の受講生数は1人でした。

#### ⑦「ロジスティクス改善演習」の2018年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を

用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解を深め、分析手法を習得するとともに、分析能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目として、新松戸キャンパスと龍ヶ崎キャンパスで実施しました。各回の内容は表11のとおりで、新松戸の受講生数は16人、龍ヶ崎の受講生数は6

表11 「ロジスティクス改善演習－秋学期、新松戸・龍ヶ崎」の2018年度の実施結果  
秋新松戸(16名)、龍ヶ崎(6名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	ロジスティクス改善演習の講義内容、日程を理解する。
2	ミニチュアシミュレータによるラック配置の立案	ミニチュアシミュレータを用いて倉庫内のラック配置を設計する。
3	ミニチュアシミュレータによるラック配置の検討	ミニチュアシミュレータを用いて倉庫内のラック配置を検討する。
4	ミニチュアシミュレータによるラック配置の作成	ミニチュアシミュレータを用いて倉庫内のラック配置を設計する。
5	RALCモデルによる設計	ミニチュアシミュレータによる設計をRALC上でモデル化し、シミュレーションを行う。
6	RALCモデルによるシミュレーション	ミニチュアシミュレータによる設計をRALC上でモデル化し、シミュレーションを行う。
7	ラック配置シミュレーションレポート	ミニチュアシミュレータによるラック配置シミュレーションのレポートを作成する。
8	サプライチェーンゲームの概要	サプライチェーンゲームであるビールゲームの内容を理解し、進行手順を学習する。
9	サプライチェーンゲームの実施	ビールゲームを実施する。
10	サプライチェーンゲームの実施	ビールゲームを実施する。
11	サプライチェーンゲームの分析	ビールゲームの結果を集計し、分析する。
12	サプライチェーンゲームレポート	ビールゲームのレポートを作成する。
13	サプライチェーンにおけるCO <sub>2</sub> 排出量	サプライチェーンにおけるCO <sub>2</sub> 排出量の算出方法を学習する。
14	モーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量の解析	事例データを用いたモーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量の削減を計算する。
15	モーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量レポート	モーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量のレポートを作成する。

人でした。

#### ⑧ 「IoTロジスティクス実践講座」の2018年度の実施状況

「IoTロジスティクス実践講座」は、2018年から新たに開講された科目です。最近のIoT、ロボット、AIなどの技術の進展は目覚ましく、この動向は今後ロジスティクスを大きく変革していくことが予想されます。本講座では、このようなIoT、ロボット、AIなど

の現状、さらにロジスティクス分野での応用可能性、そしてロジスティクスが今後どのような展開をしていくのかについて、考えていきます。本講座は、IoT、ロボット、AI関連、物流関連の客員講師から講義をしていただくかたちです。半期科目であり、春学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表12のとおりです。受講生数は68人でした。

表12 「IoT ロジスティクス実践講座－春学期、新松戸」の2018年度の実施結果(68名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	IoT、AI、ロボティクスを活用したロジスティクスソリューション	シーオス(株) 松島聡氏
3	IoT、ロボット、AIで激変するロジスティクス	(株)ダイワロジテック 秋葉淳一氏
4	物流事業者による新技術を利用したロジスティクス改革	大塚倉庫(株) 元日本通運(株) 宮川治樹氏
5	物流ネットワークでの情報化進展	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
6	物流業界におけるロボティクス、IoTの活用 ースマートロジスティクスー	(株)日立物流 神宮司孝氏
7	ロジスティクスがIoTに期待すること	花王(株) 山口裕人氏
8	世界と日本のロジスティクス技術動向	(株)日通総合研究所 井上文彦氏
9	生産と物流「Industrie4.0」と「Logistics 4.0」	味の素パッケージング(株) 恒吉正浩氏
10	IoTが実現する未来の輸配送	(株)Hacobu 佐々木太郎氏
11	大学祭休講	大学祭休講
12	物流起点のIntelligenceとは何か	GROUND(株) 小林孝嗣氏
13	RFIDの活用と課題	東芝テック(株) 神戸幸彦氏
14	IoTがもたらすロジスティクス変革	流通経済大学 矢野裕児
15	まとめ	流通経済大学 矢野裕児

#### ⑨ 「地域ロジスティクス実践講座」の2018年度の実施状況

「地域ロジスティクス実践講座」は、2018年から新たに開講された科目です。地域の経済、産業、さらには我々が生活する上において、物流、ロジスティクスは重要な役割を果たしています。本講座は、地域経済、地域産業、我々の生活において、物流、ロジスティクスがどのような役割を果たしているかについて、広く理解することを狙いとしています。地域の物流の特徴を知ると同時に、地域農産物、特産品、地域小売業などの物流、ロジス

ティクスの仕組み、さらに最近問題となっている買い物弱者問題などの現状と課題など、様々な視点から考えます。そして今後、地域活性化、地域発展において、物流、ロジスティクスがどのような役割を果たしていくべきか、新たな地域ロジスティクスのあり方について、考えていきます。半期科目であり、春学期に龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表13のとおりです。受講生数は20人でした。

表13 「地域ロジスティクス実践講座－春学期、龍ヶ崎」の2018年度の実施結果(20名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	いばらきの地域特性～茨城県の産業と経済	一般社団法人常陽地域研究センター 廣田善文氏
3	ソーシャルシフトと改善活動	(株)カスミ 齋藤雅之氏
4	茨城県の産業と物流	流通経済大学 矢野裕児
5	地域に根差した物流会社として	沼尻産業(株) 中崎裕市氏
6	地域ロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
7	アパレルにおけるサプライチェーン	(株)アダストリア 丸子淳一氏
8	地域に根差した企業として「ロジスティクス」への取組みについて	(株)日立物流東日本 名和裕氏
9	地域の稼ぐ力を創造する「地域商社」	(株)ファーマーズ・フォレスト 松本謙氏
10	茨城県の物流概況	一般社団法人茨城県トラック協会 茨城流通サービス(株) 小倉邦義氏
11	地域と物流ネットワーク	流通経済大学 矢野裕児
12	本県農業の現状と施策について	茨城県営業戦略部販売流通課 加治真継氏
13	茨城県総合物流計画について	茨城県政策企画部交通政策課 小川健太郎氏
14	首都圏を支える茨城県の物流	十和運送(株) 結束洋氏
15	まとめ	流通経済大学 矢野裕児

## ⑩「全国通運連盟寄付講座」の2018年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、J R 貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招

き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表14のとおりです。受講生数は79人でした。

表14 「全国通運連盟寄付講座」の2018年度の実施結果(79名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	物流の歴史(1)	物流博物館 玉井幹司氏
3	物流の歴史(2)	物流博物館 玉井幹司氏
4	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(1)	日本通運(株) 武山量哉氏
5	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(2)	SBSロジコム(株) 青柳大氏
6	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(3)	芳賀通運(株) 塚本貴士氏
7	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(4)	(株)丸運 岡本将一氏
8	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(5)	センコー(株) 堀江麻里氏
9	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(6)	熊谷通運(株) 田島崇晴氏
10	JR貨物に関する知識(1)	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
11	JR貨物に関する知識(2)	日本貨物鉄道(株) 入江宏紀氏
12	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(1)	(株)オカムラ物流 磯崎隆之氏
13	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(2)	(株)ブルボン 稲田浩氏
14	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学 林克彦
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦